

さいたま市障害者社会参加推進センターだより



# ぷらネット

第16号



### 出席者

川島 哲也(さいたま市精神障害者家族会連絡会)  
 渡邊シヅ子(NPO 法人さいたま市障害難病団体協議会)  
 高橋 一男(さいたま市身体障害者福祉協会)  
 宮部 幸子(一般社団法人さいたま市手をつなぐ育成会)

藤崎 明美(さいたま市視覚障害者協会)  
 平林 彰(障害者(児)の生活と権利を守るさいたま市民の会)  
 牧野 悦子(さいたま市聴覚障害者協会)

### 司会

浅輪田鶴子(センター長)

### 座談会

事業企画のたて方は

## 私たちの流儀

浅輪 お集まりいただいたみなさんは、毎年、事業委員会の委員として家族教室、生活訓練事業の企画を立て、会員の方々と力を合わせて事業を成功に導いていただいています。テーマが見つからないということはないですか。会の組織の大きさとか障害の種類によって違うかと思うのですが、企画内容はどのように決めていますか。

### 企画をきめるのは…

川島 例えばほかのところでは委員会組織を作ったところで決めるということがあるそうですが、そういうのに比べて私のところは一番遅れているのではないかと思います。勿論委員の意見も聞いてはいますが。

浅輪 担当者は一年ごとに代わるのですか。

**川島** 建前では替わりますが、  
 実質は引継ぎで、私の場合は少  
 なくとも二年は替わりません。

**藤崎** 会の次年度の事業計画を  
 立てる段階で生活訓練のことも  
 考えています。実際には企画書  
 の提出が早いので、まだまとま  
 らないうちに昨年度のを踏  
 襲して提出することになってし  
 まいます。細かいことはあとで  
 決めるので。

**宮部** 育成会の場合は、研修委  
 員を引き受けた時、社会参加推  
 進事業の事業委員もと言われ  
 て、最初は前任者と一緒だった  
 のですが、十八年度からは研修  
 委員長と兼任でやってきまし  
 た。企画案は常任理事会に諮っ  
 て決めます。

**渡邊** 原則は皆さんの催す企画  
 から学んでいます。講演会は楽  
 だけれど好評でない、体験的企  
 画などがいいですね。

**浅輪** 参加してみてもこれはいい  
 などと思うものをとりあげてい  
 るんですね。

牧野さん、昨年の「手話の文  
 化」はよかったですね。

**牧野** ありがとうございます。  
 昨年度は「手話の文化」という  
 生活訓練事業をやりました。

企画を作る段階で聴障協理事  
 会で生活訓練事業がいいのか、  
 家族教室にするのかで生活訓練  
 事業を選びまして、いろいろ意  
 見を交換して手話の文化をやる  
 ことにしました。

**高橋** 身体障害者福祉協会は昨  
 年は四か所で行ったんですが、  
 四か所は大変。

**浅輪** 高橋さんが一人で決める  
 のですか。

**高橋** 田口会長さんと一緒にや  
 っています。

**浅輪** 昨年最初にそれをやろう  
 という話合いはどこで行ったの  
 ですか。

**高橋** 協会の役員会で決めまし  
 た。何やろうかという問題を出  
 した時にちょうど後期高齢者の  
 問題が出ていて、これはいいね  
 という事になったんです。身

障の事業委員会の中でも問題に  
 なりましたね。これは身障の協  
 会でやるべき問題なのかさいた  
 ま市の協議会でやったほうがい  
 いのではないかとか。

**浅輪** 今年のテーマは。

**高橋** 役員会でこれと言ったテ  
 ーマがなかったら、保険医協会  
 の先生から、たまには歯医者  
 の問題もやってくださいといわ  
 れ、やることになりました。

### 問題点は…

**浅輪** それぞれ考えたり長いこ  
 とやっていたり、いろんな問題  
 点はあるなと思いつながらやるし  
 かないということですかね。そ  
 の問題点とは。

**川島** 予算が決まるのが遅いの  
 ではありませんか。例えば講師  
 謝礼にしても計画が立てられな  
 いですね。年度の初めに案を作  
 ったのですが、いざという段階  
 で講師に断られました。

理由がはっきりしたわけでは  
 ありませんが私は講師料問題だ

ったかなと思います。次の先生  
 もダメ。三人目でやっとOK。

**浅輪** 定期的なもの、計画を立  
 てる時と確定していく時に確か  
 にずれがあり、内容的に変わっ  
 てしまうことがありますか。

**藤崎** 私たちの会では、年度末  
 の理事会で来年の事業を決めま  
 す。毎年工夫は少しずつしてい  
 ますが、基本的には変わらない  
 ですね。

**平林** うちが講師を呼んでの講  
 演会は十年前までは毎年やって  
 いました。最近だんだん企画を  
 しなくなっていましたね。

うちの会は知的障害者のお母  
 さんが多いんですけれど、最近  
 お父さんが倒れた、お母さんも  
 倒れたとあちこちで聞かれるよ  
 うになり、作業所などデイケア  
 に通っている人をご夫婦で見  
 ているわけですが、一人が倒れる  
 とどうしようもなくなる。じゃ  
 あ、あの子はどこへ行ったのと  
 ちよくちよく話題になるよう  
 なっていました。

今年是全国の状況を、特に運動のことを周りの人に聞いてもらいたいなと思いました。

自分たちで企画すると講師謝礼がせいぜい一万円なんですよ。でも、この企画で通してもらったら三万円くらいまで出せるのではないかと。団体の役員に来てもらうと三万円くらい出すと来てくれるのではないかと手探りの状態でやっています。

### 会場探しは…

**浅輪** 渡邊さんのところは どうですか。一人でやっているというのはけっこう負担になっているでしょう。

**渡邊** そうでもないです。自分の立場を考えると、こやしになっています。

会では年に一回シンポジウムか講演、学習会をやっていて、その延長に家族教室・生活訓練があるわけです。市の委託事業はとていい事業だと思う。

今年度の場合、指導員、用具

を県立の交流センターから借り

るので会場を交流センターにしたいと思っていたら、さいたま市の事業なので市のものを使いなさいといわれて、結局与野コミュニティセンターになったんです。なんか、納得できないところがあります。

**浅輪** 牧野さんは場所を探すのに苦労していませんか。

**牧野** あまり大変とは思いません。集まりやすく駐車場があって、会場費をなるべく使わないところということで、交流センター大ホールを使うことが多いです。無料ですし、設備も借りられるので。

### もつと広く知らせたい

**浅輪** どこかで大変だと思うところがありませんか。

**平林** 人が集まるか心配。自分の会だけではむずかしいですね。地元ではどう手をつないでいくかが大事だと常日頃考えています。あちこちにチラシを撒

こうかなと思っていますね。

**川島** この事業は会員を対象としているのか、会員以外か、あるいは両方を対象にしているのでしょうか。精神の場合はどちらも対象にしております。

家族教室の場合は会員以外を意識しています。そうしないと人数を動員できない。できないと言ったら変なんです。その背景には家族会に入っていない人がたくさんいる。そういう人たちにお知らせするためには、市役所の広報は効果があるんですけど、そのほかに新聞社にお願いして載せてもらうとか。

**浅輪** 市報に載せると言うことは一般市民に関心を持つていたいただきたいということだと思えます。どちらかではなく、両方でしょう。いろんな企画を立てる段階で一般の人が参加するのは難しい。こちらの方で障害に添った企画を立てて、会員以外でも関心のある方に参加していただくということでしょうね。

**川島** 行政のほうではどうなんですか。

**牧野** 生活訓練等事業のチラシを作って事務局経由で市へいくのですが、市からここを直してくださいと言われるんですが、どうなんでしょう。

協会で責任を持って作ったものなのに、一生懸命考えて作ったものなのに市のほうで変えてくださいと言ってくるのは。

呼びかけについても市報に載せるだけでなく市のホームページに載せてもらえるように依頼したらいいかと思えますがいかがですか。

**事務局** 去年は載せてもらいました。今年は確認します。

**浅輪** 皆さん頑張ってお客さんをたくさん集めましょうね。

人が来てくださるといふことはそれだけ話題が広がるということ、障害について関心を持つていただけるということですから。ありがとうございます。

# こんにちははわがまちの社会参加推進センター

## コミュニケーション支援を通して社会参加の促進を

北九州社会参加推進センター

松本 大史

北九州市障害者社会参加推進センターでは、「重度障害者支援」「就労支援」という二つの柱を掲げ、従来の生活訓練的な事業の他に、現在以下のような事業に取り組んでいます。

重度障害者支援については、今年度はコミュニケーション支援に重点を置いていきます。

コミュニケーションに必要なツールは障害の種類によってバラバラで、支援をする側は障害の知識はもとより、支援に必要なツールの知識・技術を持っていないと、障害のある人たちの社会参加に向けた適切な支援が行なえません。そのギャップを埋めるために、関係機関や団体と

ネットワークを組んで、コミュニケーションに関する研修やシンポジウムを今年度は実施します。

就労支援については、就職につながる資格の取得を目指した講座を実施しています。今年度は日本商工会議所の「日商P C検定3級 データ活用」の資格取得講座を実施しており、講座修了後に試験を受験するスケジュールで現在カリキュラムが進んでいます。



就労につながる資格取得を目指してPC講座を実施

障害者のパソコンスキルをアピールし、職域の拡大や就労支援を目的とする「日商P C検定3級 文書作成」も、主催の視覚障害者支援団体に協力するかたちで現在実施しています。

事業の実施については、障害のある人達が実際どういうことを必要としているのか、そのためにそれを支援する人達に何を伝えなければならぬのか、現状を把握して、今後を見据えた事業をどう考えるか、担当者の力不足もありますが、そこにつきも苦労しています。

北九州の社会参加推進センターはまだまだ発展途上です。

障害のある人達が、自分の持っている力で自信を持って社会へ出ていくことができる、そのような環境作りが少しでもできるように、今後もいろいろな事業に取り組んでいきたいと考えています。

## 追悼のことば

さいたま市障害者社会参加推進センター前センター長望月武氏は、去る六月二十二日逝去されました。政令市としてセンター発足以来、活動の先頭に立って事業の推進に尽力された望月氏は時に頼もしく、時に大らかにリーダーとしての責務を果たされました。

平成十八年にセンターの運営母体であるさいたま市障害者協議会が取り組んだ障害者自立支援法による負担軽減の市議会に対する署名請願活動には、街頭署名の折、夕闇が迫るころまでマイクを持って訴えていただきました。

身体に障害を持つ当事者としての活動は、負担になられた時もあったのではないかと思います。健康不安を抱えながらバイクで走り回っておられた姿を懐かしく思い出しています。

巨大なものに阿ることなく、正しいと思ったことにまっすぐ進んで行った望月氏の志を受け継いで、センターの運営に励んで参ります。

さいたま市障害者社会参加推進センター長

浅輪 田鶴子

## 手話コーラスや体感音響システムを使った ジョイントコンサート

社団法人広島市身体障害者  
福祉団体連合会

事務局長 野崎 矩明

広島市身体障害者福祉団体連  
合会は、広島市の肢体・視覚・  
聴覚・難聴の各障害者団体など

### 障害福祉施策の

### 充実を求めて

さいたま市障害福祉課長

岡村 健司

日ごろより本市の障害者社会  
参加の促進に格別なるご支援を  
いただきまして誠にありがとうございます。  
ございます。

また、本市が政令指定都市に  
なり、今までに様々な事業を市  
の直接事業として実施してきま  
したが、障害者社会参加推進セ  
ンターは、障害者社会参加推進  
事業の中心的役割を担っていた  
だいでいるとございます。  
お蔭様で本事業も、障害者週  
間記念事業を始め、家族教室・

で構成している団体です。

当連合会は、昭和二十六年の  
設立以来、障害者の自立と社会  
参加促進のため、教養、文化、  
スポーツなど幅広い分野におい  
て、数多くの事業を展開してい  
ます。その中でもわがまち広島  
らしい事業やユニークな事業を  
ご紹介します。

始めに、平成十八年から毎年、

生活訓練等、各種の事業が例年  
の恒例事業として順調に開催す  
ることができております。これ  
も、本事業を運営していただい  
ております、障害者協議会の会  
員皆様方ご努力の賜物と感謝申  
し上げます。

障害福祉課といたしまして  
も、本年3月に策定いたしました  
「障害者総合支援計画」に基  
づきまして、社会参加推進セン  
ターと共に、障害のある人もな  
い人も、住み慣れた地域で安心  
して生活することができるよう  
、障害福祉施策の充実に努め  
てまいりますので、引き続き、  
皆様方のご理解・ご協力を賜り  
ますようお願い申し上げます。

障害者と広島交響楽団とのジョ  
イントコンサートを広島国際会  
議場で開催しています。

コンサートは、二部構成で、  
一部は広響の演奏。二部の広響  
とのジョイントでは、広響と障  
害者の合唱・和太鼓の合奏を入  
場者に披露しています。

運営は、広島市の様々な障害  
者団体(身障・知的・精神)で構  
成する実行委員会がコンサート  
の企画や出演者への指導、チケッ  
トの販売などを行っています。  
昨年は、入場者がほぼ満席に  
なり、多くの市民の方に障害者  
の社会参加の必要性を理解して  
いただいたと思っております。

なお、このコンサートは、聴  
覚・難聴障害者も参加できるよ  
う、手話コーラスや体感音響シ  
ステムを取り入れています。

次に、昭和五十年の広島東洋  
カープの初優勝のパレードがき  
っかけで、二年後に市民の祭り  
として「ひろしまフラワーフェ  
スティバル」が始まりました。



広島交響楽団とのジョイントコンサート

その祭りに昭和五十六年から  
参加しており、パレードでは、  
車いすダンスチームを先頭に約  
二百名の障害者が行進します。  
また、障害者と健常者が交流す  
るふれあいの広場では、ステー  
ジ発表や作業所の製品の販売を  
三日間行っています。

ユニークな事業としては、視  
聴覚障害者の社会参加を促進す  
るのが狙いで、点字の歌詞を読  
み取りながらカラオケができる  
装置や補聴器の利用者が音声を  
聞き取りやすくする磁気ループ  
アンテナセットの無料貸し出し  
を行っています。

# 平成21年「障害者110番研修会」

主催 中央障害者社会参加推進センター

## 初期相談のあり方に再度認識を新たに

知的障害者相談員 茅根 弘子

7月13日「障害者110番事業研修会」が東京の新霞ヶ関ビル五階で開催されました。

北海道から九州から、56名の参加でした。

午前のプログラムは「障害者の自立を妨げる人権侵害」のテーマで仙台の荒中弁護士の講演。

障害は日常生活に支障をもたらし一生抱え持つ問題で、障害により自立を妨げ人権侵害を如何に受けているか事例をまじえ話され、障害者がある人らしく生きる権利を持ち、支援されているか気付くことが第一歩であり、それは一人では解決しにくい。人との繋がりや情報を得るには身近な相談員の関わりが大切と云われ、責任を強く感じました。

午後は「初期相談のあり方を考える」のテーマで良田かおりさんの講演でした。相談員の留意点として傾聴・共感・受容・秘密の厳守、相談者の人格尊重など事例を交えた話に再度認識を新たにしました。

私はいつも良い出会いであることを願っています。相談者と相談員は平等であり、一緒に考えお互いに成長し合いたい、共に「今日の出会い」を喜び会える相談員でありたいと思います。

それには自分自身の心身の状態を良くし、余裕を持って相談に臨まないといけないと常々思っています。たしかに話に余裕なく自信のない時は自分一人でしゃべってしまった苦い経験もふと思い出しました。

安心感・信頼感の持てる相談員になるよう頑張ります。

今回の研修会に参加させて頂き有難うございました。



## 求められるセーフティネットの広がり

みなわ会 新井 加代子

7月13日、21年度110番事業研修会が新霞ヶ関ビル五階・全国社会福祉協議会の会議室で開催されました。当事業は平成10年、身障対応からスタートし、その後3障害が一体となる過程を経て今日に至り、年1回全国より相談員が参加して開催されています。

第1部は、「障害者の自立を妨げる人権侵害について」講師は仙台弁護士会副会長・荒中氏。講師が直接向き合った事例を基に障害者が直面する道のり(就学・就労・高齢に至る地域生活)様々な社会とのギャップを抱えた当事者と向き合う家族の問題として、緊張と行動の制限等の重圧から、サラ金、クレジット、悪質消費者被害に巻き込まれ多重債務者となり、離婚や家族崩壊の増大、この危機を乗り越えるための生活再建へのファミリーサポートとして「法テラス」「総合権利擁護(支援)センター」等のセーフティネットの地域社会への広がりが求められること。加えて障害者の自立への道、住居、医療、地域サービスを通して、安心して自分らしく暮らせる街づくり、成年後見制度の後見人として、市町村長が申し立て可能とする市民後見人制度実現への取組みの理想を揚げ、結びは相談員への提言として、障害は身近な問題で(高齢化)自分自身の人権、権利擁護について立ち止まって考えることなど。

研修2部は、良田かおり講師による「初期相談のあり方を考えるー初期相談に大切なことー」相談員としての基本原則・傾聴・共感・プライバシー厳守・相談者の人格の尊重・品位・節度を持った言葉遣いへの配慮等々各部の講演を通して強く共鳴。3部に於ける参加者の意見交換も含めて有意義な学び多き一日でした。

## 平成21年度 社会参加推進センター開催事業一覧

事業名／開催団体	開催日／場所	対象／定員	テーマ・内容等
生活訓練開催事業 (身体)	8月22日(土) 与野本町コミュニティセンター 多目的ルーム(大)	先着100名 市内在住または 通勤、通学の方	「スポーツレクリエーション」 ～幼児から高齢者、障害のある人もない人も～ ボックスホッケー、囲碁ボール、カーリング等
家族教室開催事業 (身体)	8/29、9/5・19日、10/3・ 17・31日、11/7・21日、12/ 5・19日、22年1/9・23日 (全て土曜日)全12回 浦和コミュニティセンター他	市内在住の難聴 者とその家族 各35名	「さいたま市手話教室」 手話の実技指導と難聴者の特別講演 家族間の円滑なコミュニケーションを図るため基礎 程度の手話の学習をします。
家族教室開催事業 (精神)	10月4日(日) 浦和コミュニティセンター 第15集会室	市内在住の精神 障害のある方と その家族 130名	精神科の適切な治療と服薬 ①「精神科の薬について学びましょう」 講師：桜ヶ丘記念病院 佐藤康一先生(薬剤師) ②「統合失調症のお薬とのつきあい方」 講師：長谷川病院 石塚卓也先生
家族教室開催事業 (知的)	10月22日(木) 埼玉県障害者交流センター ホール	市内在住または 在勤の方 100名(先着順)	子どもを遺すとき…「成年後見制度」金銭管理を考 えよう 講師：山本社会福祉士事務所 山本 進氏
家族教室開催事業 (身体)	10月24日(土) 与野本町コミュニティセン ター 第1・2会議室	障害者・その家 族・障害者問題 に関心のある方 40名(先着順)	より良く食べるはより良く生きる 口腔ケアの講演、実技指導 講師：埼玉県保険医協会副理事長 金子歯科診療所院長 金子久章先生
「障害者週間」 市民の集い	11月28日(土) 与野本町コミュニティセン ター	市内在住、また は在勤の方	「障害者週間」を記念して広く市民と一緒に障害に ついて考える催しです 市セレモニー、障害者作品展、講演、舞踊、音楽演 奏、授産品の販売、車いす体験など。
生活訓練開催事業 (身体)	12月6日(日) 与野本町コミュニティセン ター 多目的ルーム(大)	市内在住、また は在勤の方 100名(先着順)	さいたま市民健康講座 ①講演 理学療法士 山口 勇先生 「加齢に伴う膝関節症の予防とその治療について」 ②あんま・マッサージの無料体験と健康相談
家族教室開催事業 (身体)	12月12日(土) 与野本町コミュニティセン ター 第3・4会議室	障害者及びその 家族(重度心身・ 知的障害者の家 族など)60名	障害者家族の生き方 ①リレートーク「家族の危機、わが家の場合」 ②講演 障全協事務局長 白沢 仁氏 「障害者の生活を守る法制度の今」
生活訓練開催事業 (身体)	12月13日(日) 鈴谷公民館 和室	心身障害児・者 と家族、介護従 事者及び関心 のある方50名	「身体をとおしたコミュニケーション」Ⅱ 身体の訓練を通して、心も身体もほぐす。 講師：春木 豊氏 (県立川島ひばりが丘特別支援学校教諭)
生活訓練開催事業 (身体)	22年1月17日(日) 埼玉県障害者交流センター ホール	聴覚障害者、手 話を学ぶ方、一 般市民など	「ゆずり葉」の講演 (財)全日本ろうあ連盟創立60周年記念映画 映画製作の話を披露します。 講師：「ゆずり葉」監督 早瀬憲太郎氏
生活訓練開催事業 (精神)	22年2月11日(祝) 浦和ふれあい館第一会議室	精神障害者本 人・家族・支援 者・学生・一般 100名	共に作ろうみんなの輪パートⅡ 精神障害者本人がよりよく地域で暮らすための勉強 会
生活訓練開催事業 (身体)	22年2月28日(日) 浦和ふれあい館	内部障害者とそ の家族 110名	①医師による講習 「手術の後遺症とその対処法」泌尿器関係 ②ET ナースまたはWOC ナースによる医療講習

(注) 上記掲載内容は平成21年10月現在の予定で、変更になる可能性もあります。

## 私の趣味は

## 障害難病運動

石井 光雄

身体、知的、精神の障害のある人たちを我が国は障害者という認定で手帳を発行し福祉サービスを発行しております。私はベーチエツト病により失明したために障害者としてのサービスが受けられますが、そのほかの難病患者の中には手帳を受けられない人々が多いのです。私自身のベーチエツト病がベーチエツト病の中の平均的な症状です。そこで私の事を報告することによって難病という障害を理解出来ると思います。

主症状としては、眼のぶどう

膜炎、口腔粘膜のアフタ性潰瘍、ヒフ症状、外陰部潰瘍この四症状が繰り返し発症し、関節炎、結節性紅斑もおこることもありまます。私は十八歳頃から症状が出ておりました。そして二十三歳でベーチエツト病と告知されました。学校出て一年目のことでした。五年で失明をしてしまいました。当時の国立障害者センターで生活訓練と職業訓練(ハリ、灸、マッサージ)を受けました。

卒業後治療院を開業しましたが相変わらず眼の痛みや体の痛みをおこしておりましたが少しずつ改善され、十年後に埼玉県

盲人福祉ホームにホーム長及び

技術指導員として六十五歳まで勤めました。皆様のお力で難病運動や障害者運動をさせていただき頑張っておりましたが母の死や調子がよいので頑張りすぎたため、うつ病になってしまいました。結果、障害者運動や治療院をやめNPO法人さいたま市障害難病団体協議会の副代表およびデイケアかものみやの施設長を仲間と一緒にやらせていただいております。

今年の正月に脳底動脈、心臓の冠動脈の梗塞が見つかり脳底動脈のつまりは血管ベーチエツト病ではないかといわれております。幸いなことに今の新しい技術では脳梗塞と冠動脈の手術は切開せず、足のつけ根からカテーテル治療でステント(人工血管)を入れて危険な手術はあつという間に終わりました。蛇足になりますがベーチエツトとは、ペルシャ語で幸福という意味だそうです。

## 事務局だより

鳩山首相が訪米して毎日、新聞、テレビを賑わしています。幸夫人は日本人学校の知的障害がある児童のクラスを訪問したり、ニューヨーク大学音楽療法センターで発達障害の子ども達を前に唱歌「さくら」を歌い、即興の英語の歌を男の子とデュエットしたりとすばらしい映像が写しだされました。もともと宝塚の出身なので音楽の分野の外交行事といえますが、キューブで飾り気のない性格のファーストレイが外国でこのような訪問をなさったことがとてもうれしかったです。

日本においても是非音楽療法をやっている施設などをたくさん訪問して、国民一人一人が、障害を持った子どもをもっと身近に感じられる社会の実現のために頑張ってほしいと思います。(W)

リレートーク  
わたしはわたし

## ● 石井光雄さんプロフィール ●

旧大宮市で昭和15年生まれ  
地元でベーチエツト病で失明しました  
趣味は障害難病運動です

発行 さいたま市障害者

社会参加推進センター

〒333-0801

さいたま市大宮区土手町

一・二二二一

大宮ふれあい福祉センター4F

TEL ○四八・六五三・七二七一

FAX ○四八・六五三・七三三一

http://www.saitama-planet.com/

e-mail saitanacity-handynet@

nifty.com

発行・編集人 浅輪 田鶴子